

福岡東分室 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	23
施設所管課	男女共同参画推進課

令和3年2月

✿福岡県✿

福岡東分室
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡東分室		
所 管	人づくり・県民生活部男女共同参画推進課		
整 理 番 号	23	竣 工 年 度	平成 26 年度
所 在 地	特別施設により掲載不可		
敷 地 面 積 (m ²)	1,863.39	建 築 面 積 (m ²)	640.28
主 構 造	R C	延 床 面 積 (m ²)	1,247.02
主 要 建 築 物	福岡東分室		
駐 車 場 台 数	(公用) 13 台		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称		福岡東分室				
棟 番 ・ 枝 番		207	－	1	竣 工 年 度	平成 26 年度
建 築 面 積（㎡）		640.28			延 床 面 積（㎡）	1,247.02
構 造 ・ 階 数		R C 造 地上 2 階				
各 階 面 積 及 び 用 途						
階別	階床面積(㎡)	主 な 用 途（室名他）				
2F	619.21	居室、浴槽、談話室、寮監室、倉庫				
1F	627.81	事務室、相談室、食堂、調理室、保育室、倉庫				

福岡東分室は平成 26 年度に竣工しました。

福岡東分室は、何らかの困難な問題を抱えている女性や様々な暴力を受けている女性を対象に、抱えている問題の解決のための支援や、安全確保のための支援、自立支援を行っています。

(3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図

特別施設により掲載不可

②施設写真

全景

特別施設により写真不可

第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築6年と新しいため、計画期間中の更新は計画していません。

(2) 施設内での優先順位

施設としては鉄筋コンクリート造りによる一般的な建物です。

築6年と新しく、この計画期間内における改修は行う必要がありません。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

全体的に良好な状態です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	福岡県福岡東分室			建物名称		福岡東分室			
所在地	特別施設により掲載不可			棟番・枝番		208	- 1	築年数	4 年
建築年度	平成 26年度	建築面積	640.28 m ²		現存率	100.0	想定 耐用年数	65 年	
構造・階数	RC 2	延面積	1,247.02 m ²						
区分	項目及び①評価比率(%)			仕 様		経過 年数	②各部位の現存率		①×②
構造	躯体	40	RC		4	100.0		40.00	
	小 計							40.00	
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト防水(Bー2)		4	100.0		20.00	
	外壁	20	塗装		4	100.0		20.00	
	小 計							40.00	
電気設備	受変電設備	10			4	100.0		10.00	
	小 計							10.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10			4	100.0		10.00	
	小 計							10.00	
合 計								100.00	

この結果、福岡東分室の現存率は、「100.0」となります。

※平成30年度調査時のデータを記載しています。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト防水 (B-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年 未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年 未満
			経年（新設もしくは改 修後）	経年 10 年未満
外壁	塗装	100.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年 未満
			漏水の発生・痕跡の有 無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年 未満
内壁	石こうボード EP モルタル EP	100.0	劣化	特に問題なし
天井	吸音板	100.0		
床	フローリング カーペット	100.0		
建具	木製	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
自家発電設備	自家発電設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空調方式 冷熱源機器 温熱源機器 排煙方式	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給水方式 水槽 給湯 ガス	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
消火設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	エレベーター設 備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値	—	—	—	65 年
2014	6	新	—				

築 6 年と新しく、建物の状態も良好であるため、福岡東分室の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 59 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築6年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は61年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

(2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取り組みは以下のとおりとなります。

(百万円)					
区分	項目	実施時期			計
		令和2年度	令和3～5年度	令和6～8年度	
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	0	0	0
その他	外構	0	0	0	0
計		0	0	0	0

※実際の予算や事業費等とは異なります。